



彼の事情と

彼女の秘密

〜その後の話〜

彼の事情と彼女の秘密 〜その後の話〜









村を出て
2か月

一度王都に
戻った私たちは
ただ二人の時間を
共に過ごしていた



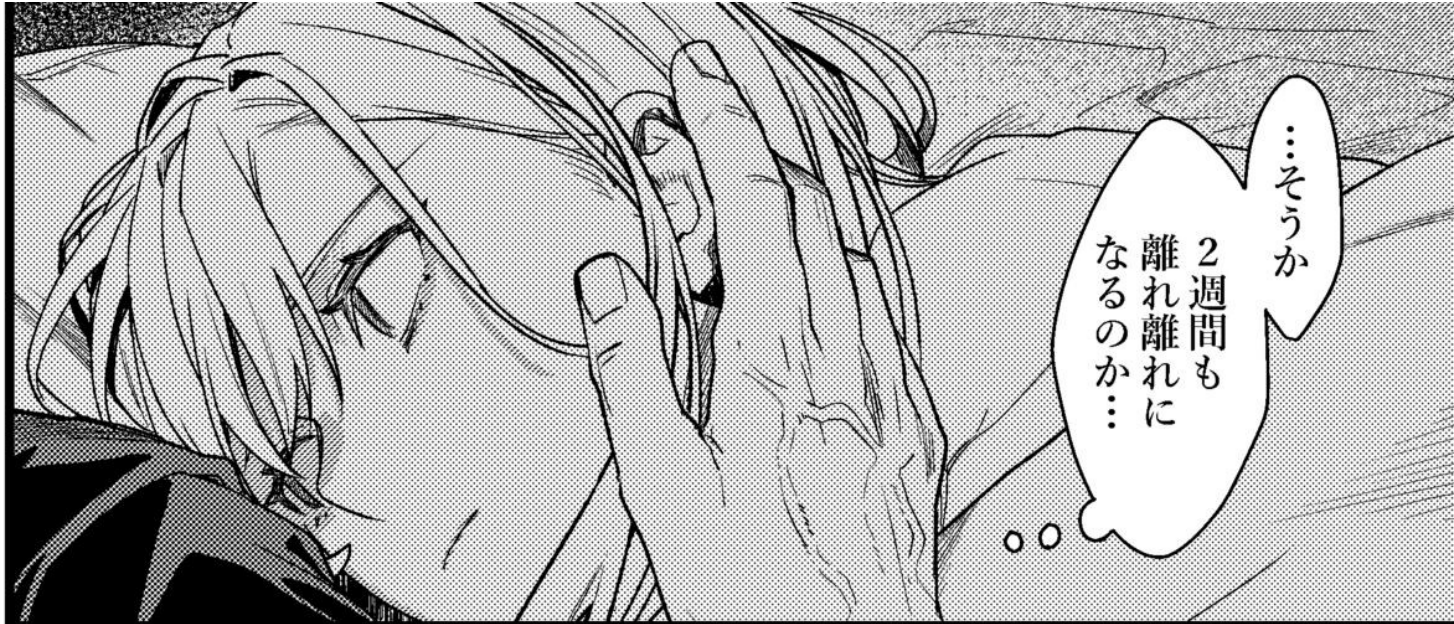
その間
旅行をしたり
母の墓参りを
済ませたりした

これは私の要望を
ユウマが叶えてくれる
形で実現したが

もう一方でこの2か月は
病み上がりのユウマの
療養も兼ねていた
わけで――







…そうか
2週間も
離れ離れに
なるのか…



だから
イリヤさん

明日と明後日は
たくさん
えっちしょ♡

日に3回
♡♡♡

日に一回

えー
もう一声

おやすみ

えー

ユウマなんて
楽しい

ユウマが
好き



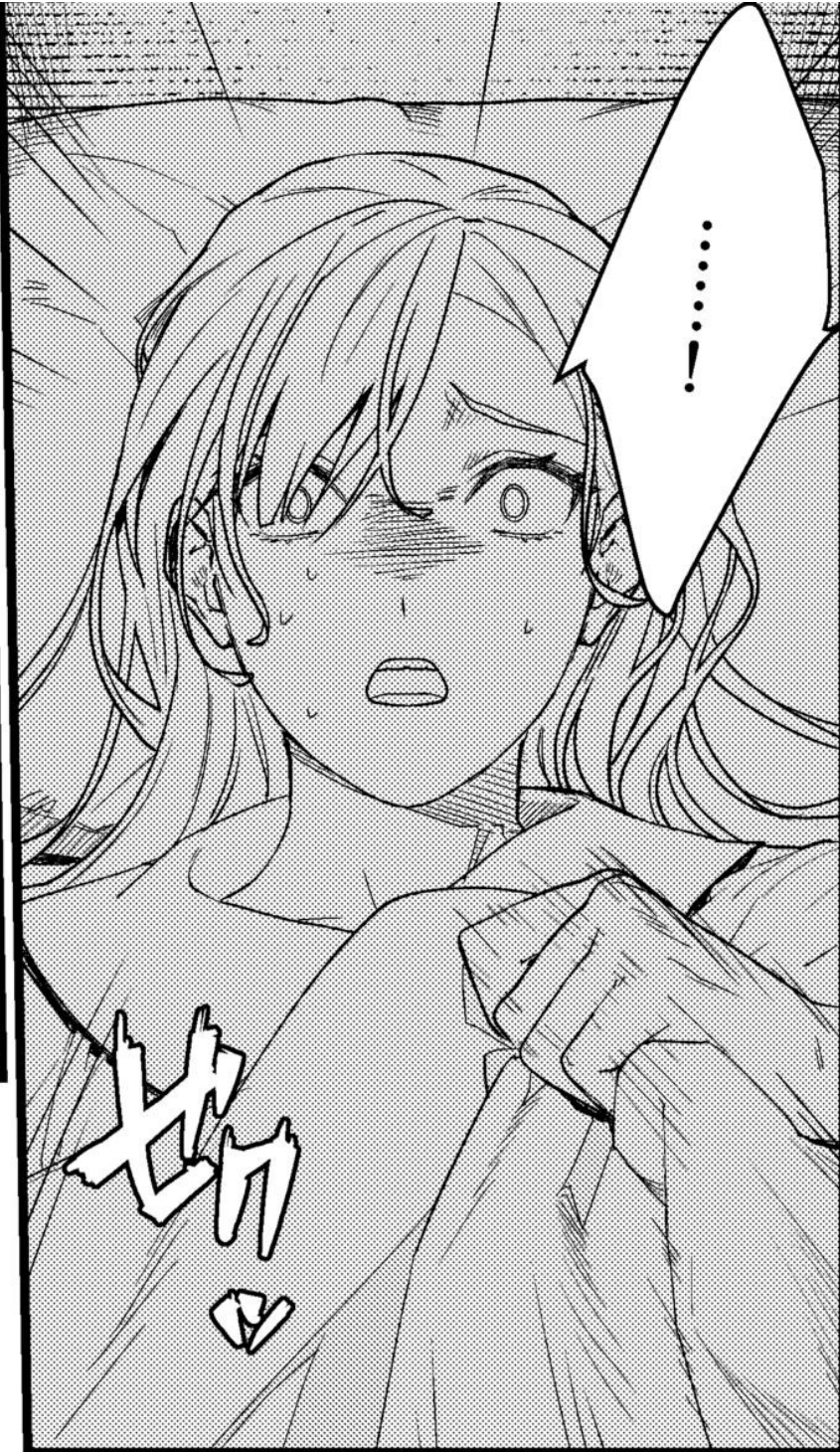
ユウマと共に
生きていきたい

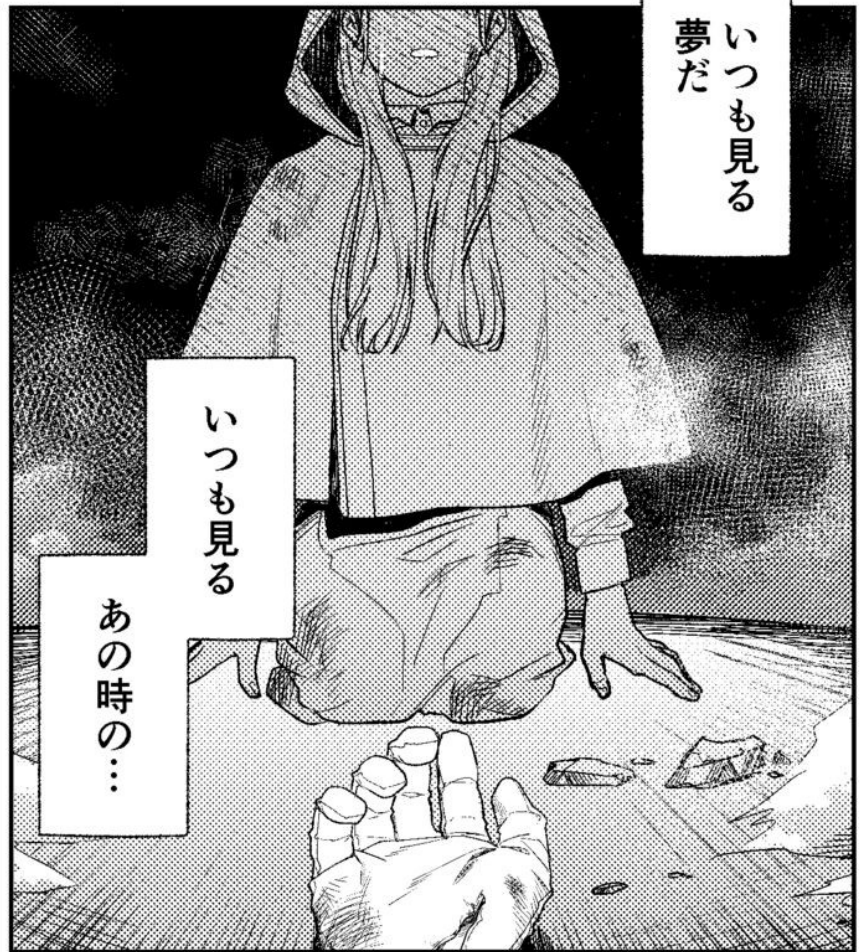
でも

ふとした時に
脳裏をよぎる
現実



私が彼の兄を
殺したことに
変わりはないのに





いつも見る
夢だ

いつも見る

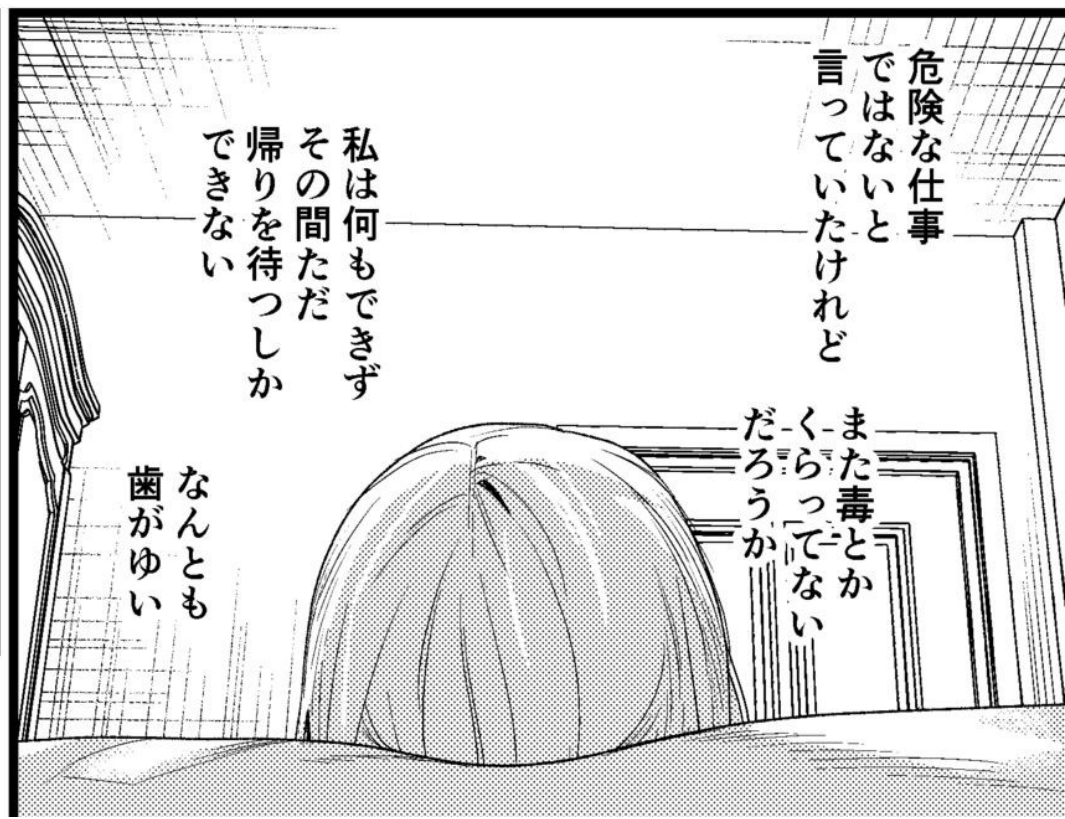
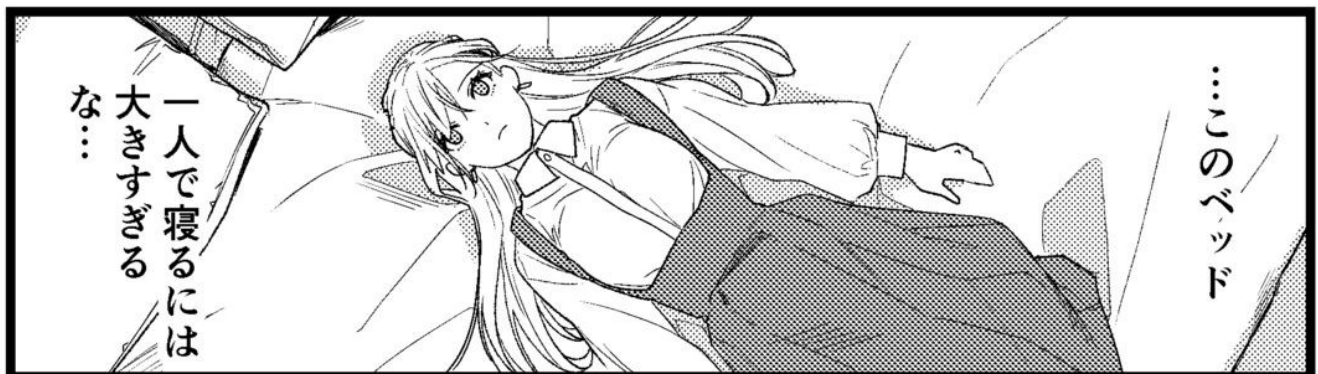
あの時の…

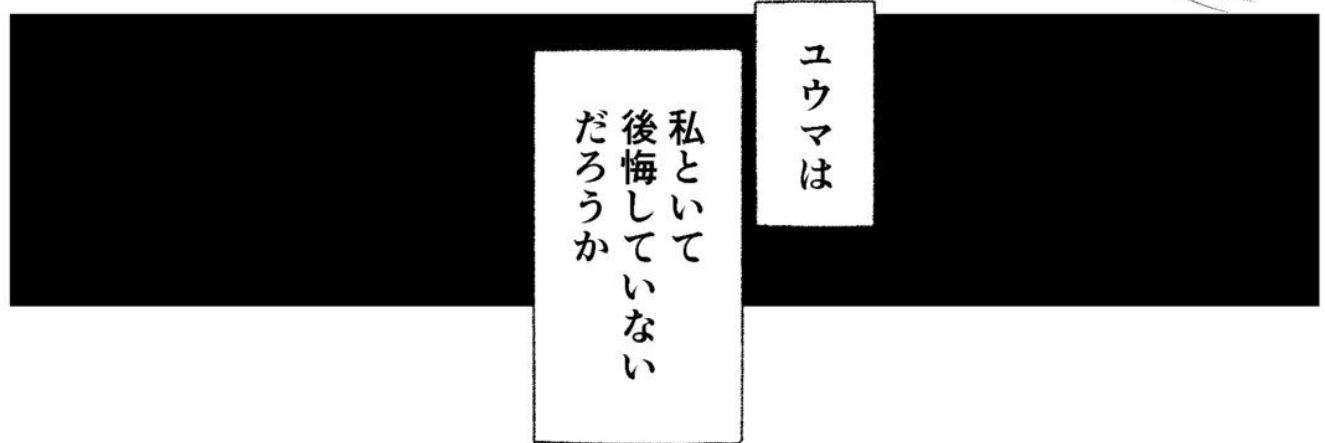
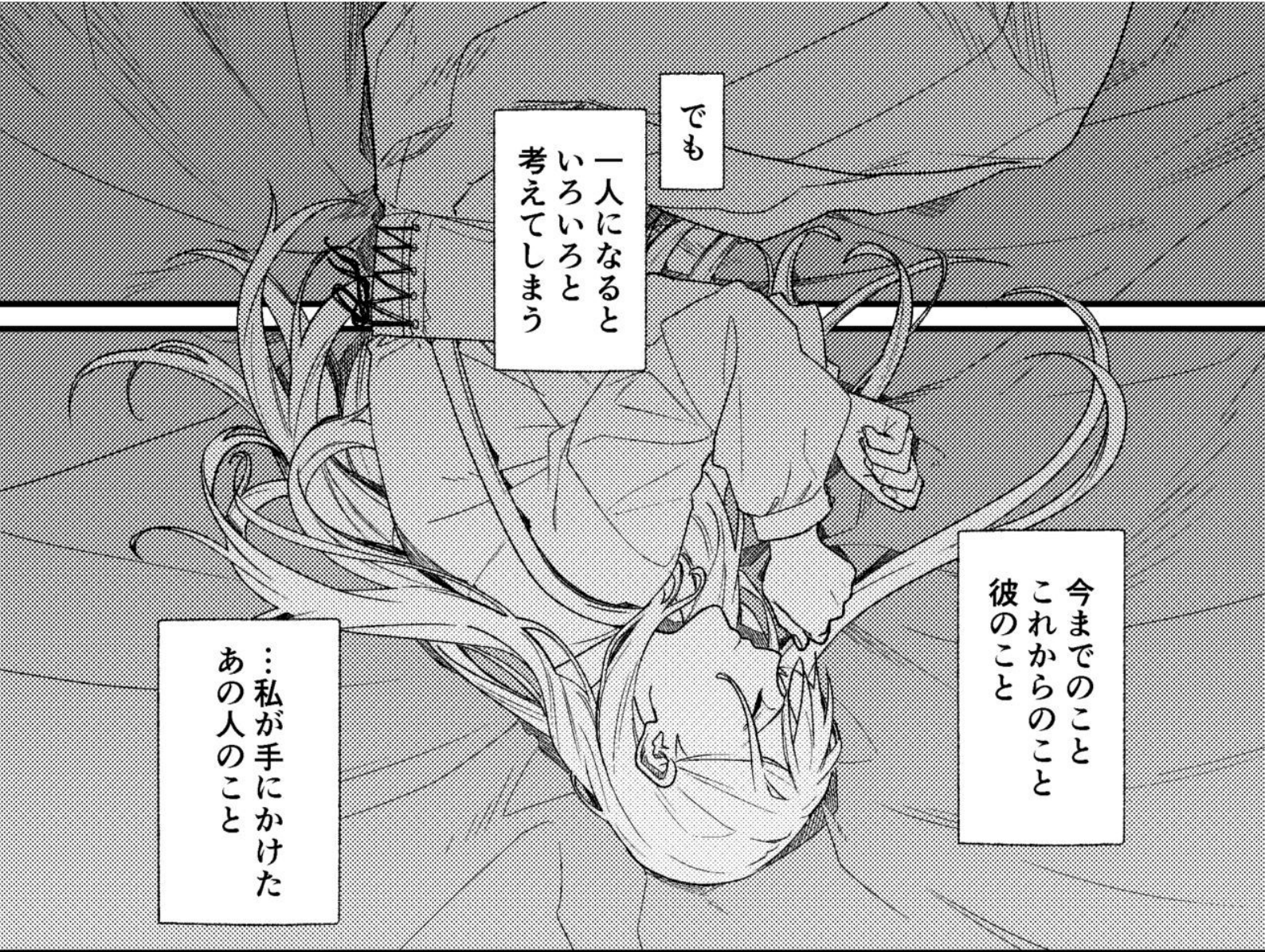


最近また

見る回数が
増えたな…

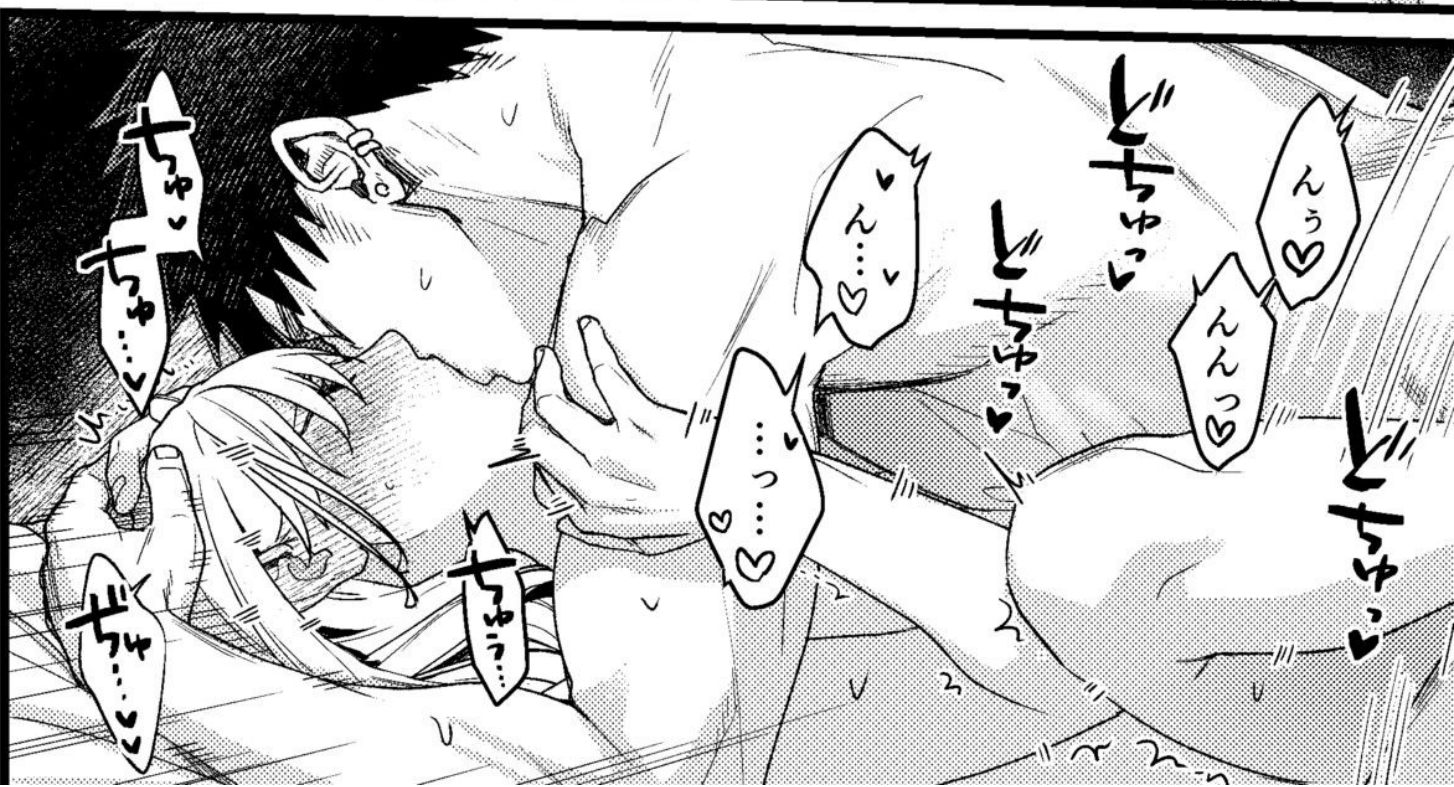


















当初二週間
だった予定が
延び

彼の体温を
感じたのは
一か月ぶりだった

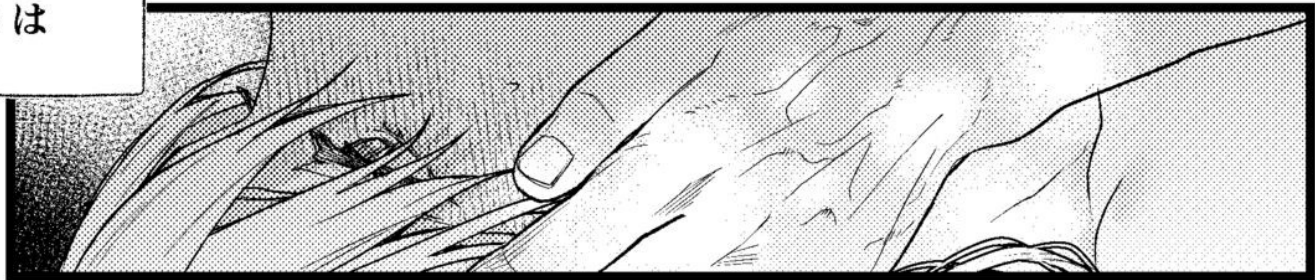
この一か月
とても長く
感じた



ユウマは何か
心境の変化とかは
なかっただろうか



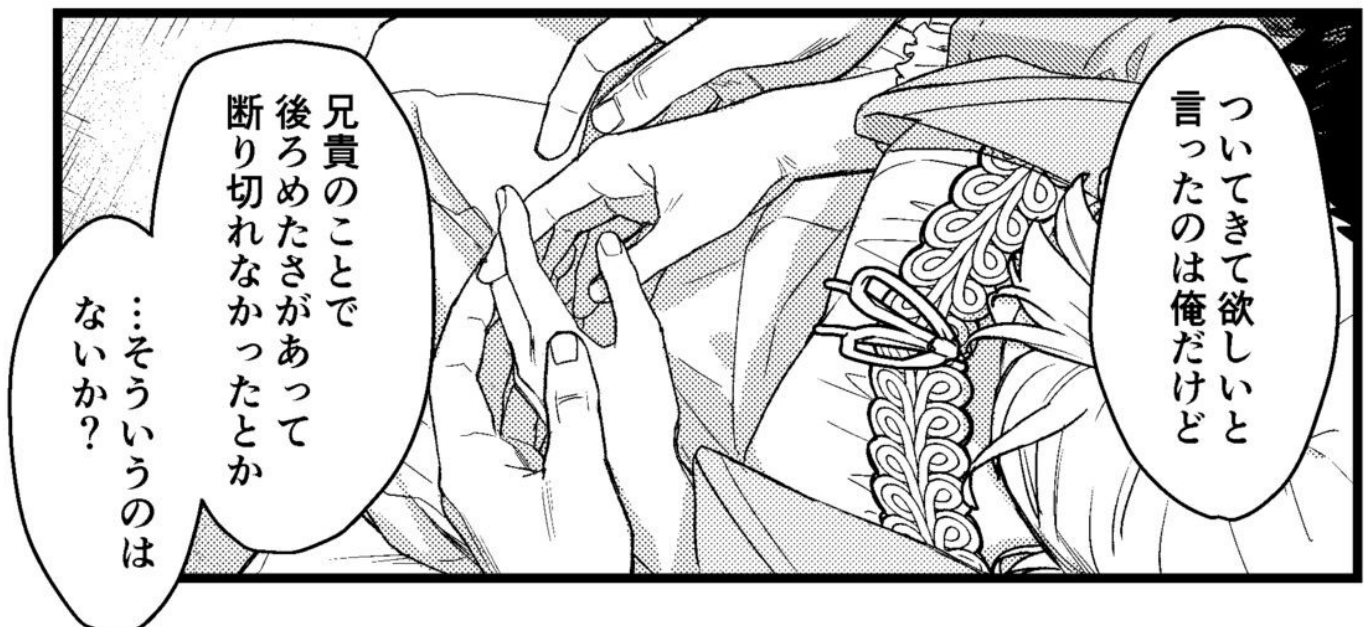
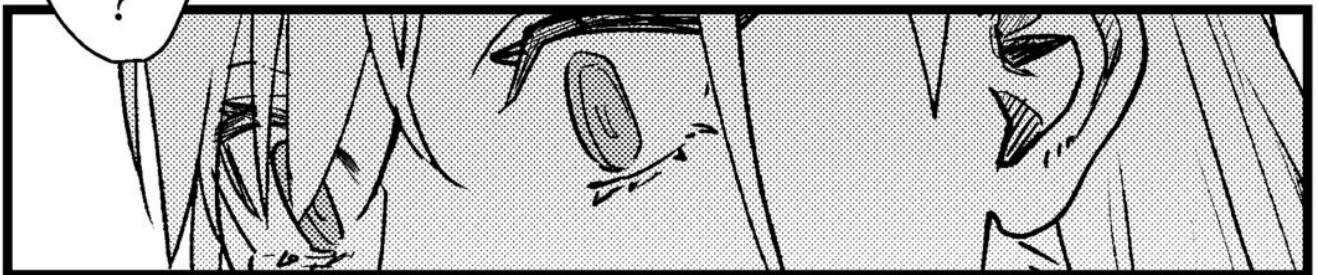
離れている間
不安を感じて
いたのは
私だけだろうか



彼の今の
気持ち
を聞くのが
とても怖い







俺は今でも
イリヤと一緒に居たいという
気持ちに変わりはない

でももしイリヤが
別にやりたいこと
行きたい場所があれば
俺は全力でサポートする

無理して俺に
あわせなくてもいい

イリヤは自分の
生きたいように
生きればいい

だから

君の偽りない
本音を
聞かせてほしい

イリヤ

.....!

…ふふっ

え？
なにになに？

ここ笑う
ところ？

いえ
ごめんなさい

私も同じこと
思っていたから

トゥッ

私は今

自分の意志で
ここにいます

王都にきて
本当に毎日
楽しかった

貴方といろんな
ところに行けて
いろんな楽しい時間
共有できて

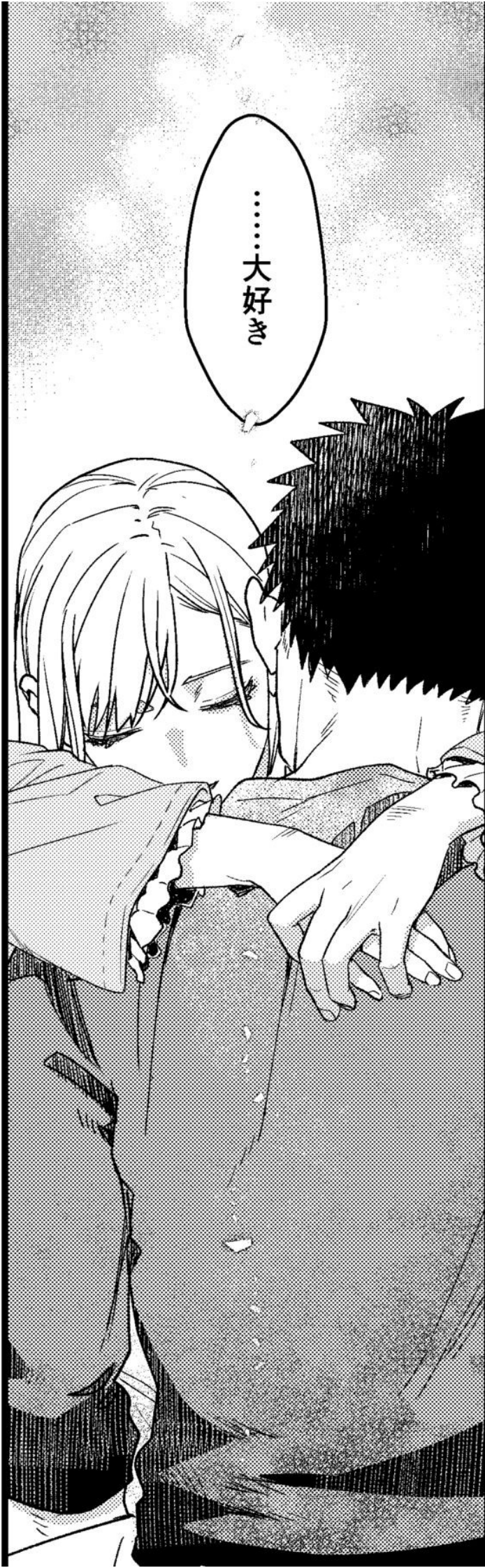
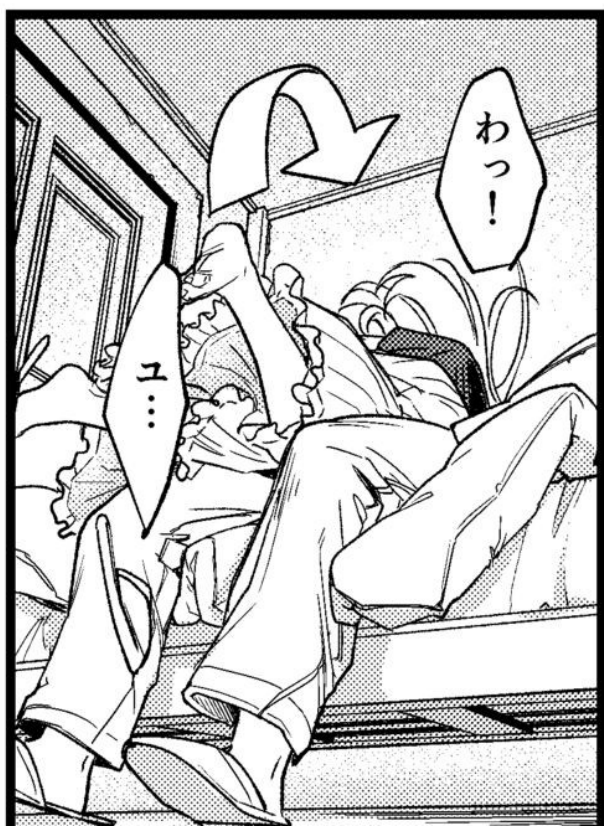
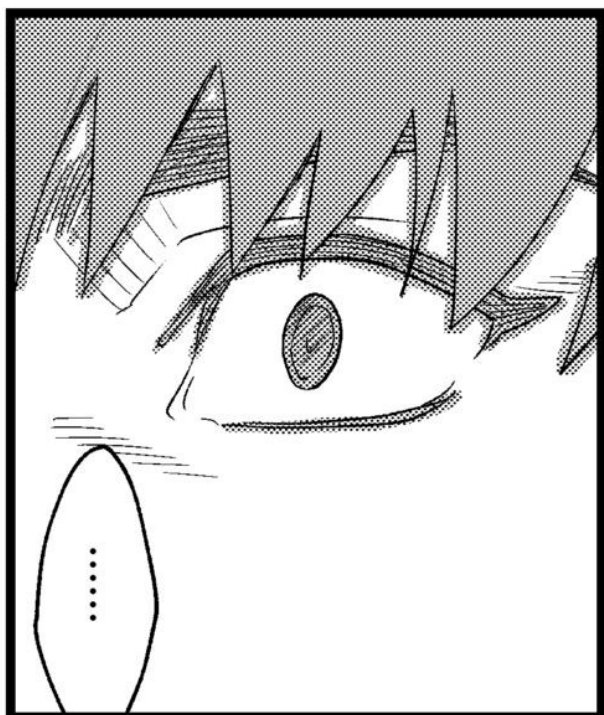
すごくすごく
幸せだった

確かに貴方に対して
後ろめたさが全く
ないわけではない

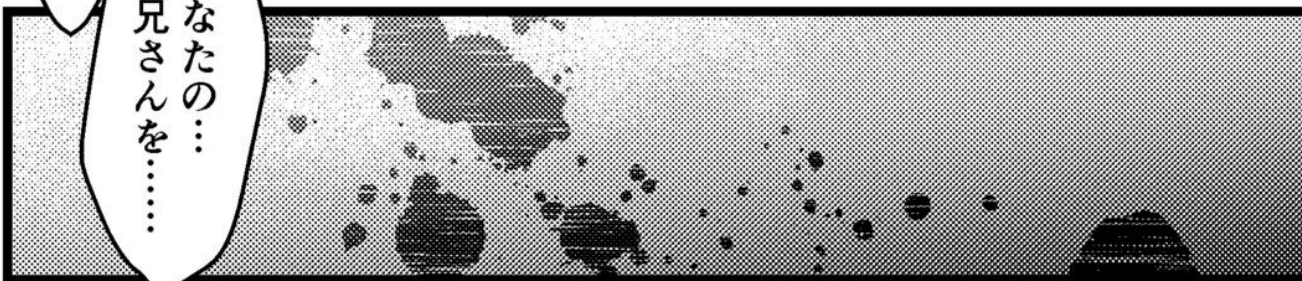
でもそれ以上に
私が貴方と
一緒にいたいと
思ったから

貴方とともに
生きたいと
思ったから

…だから今
私がここに
いるのは
自分の意志











ユウ
マ...

...何?

イリヤさんも
さっきの一回だけじゃ
足りないでしょ?

もう一回
愛の確認作業
しようよ

オニオン

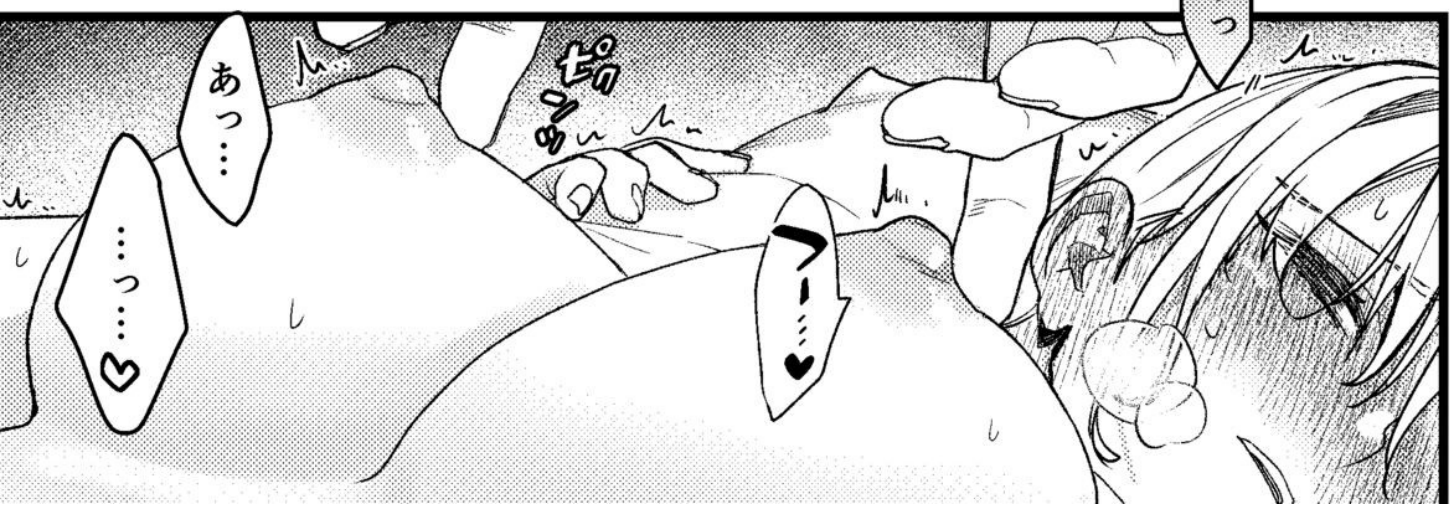
...っ...

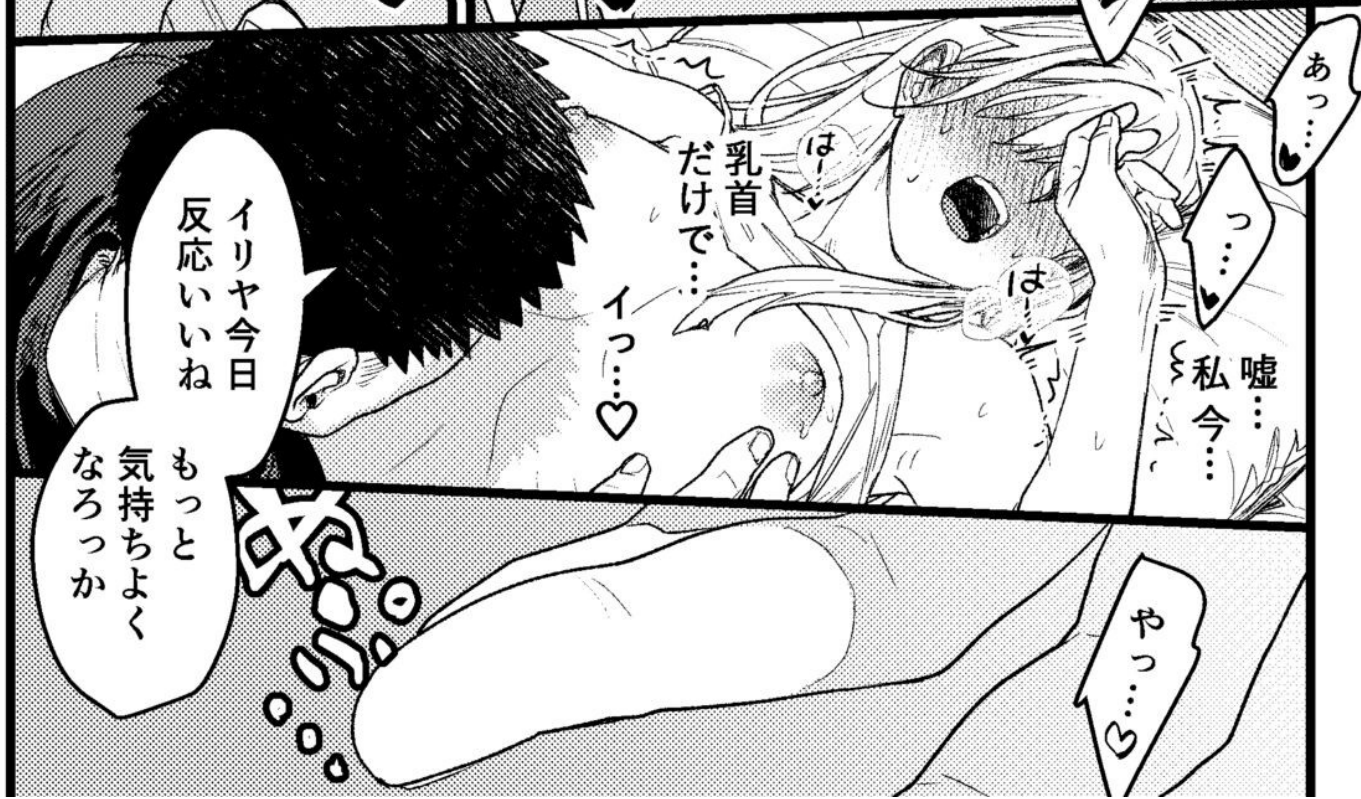
わい...
わい...
わい...

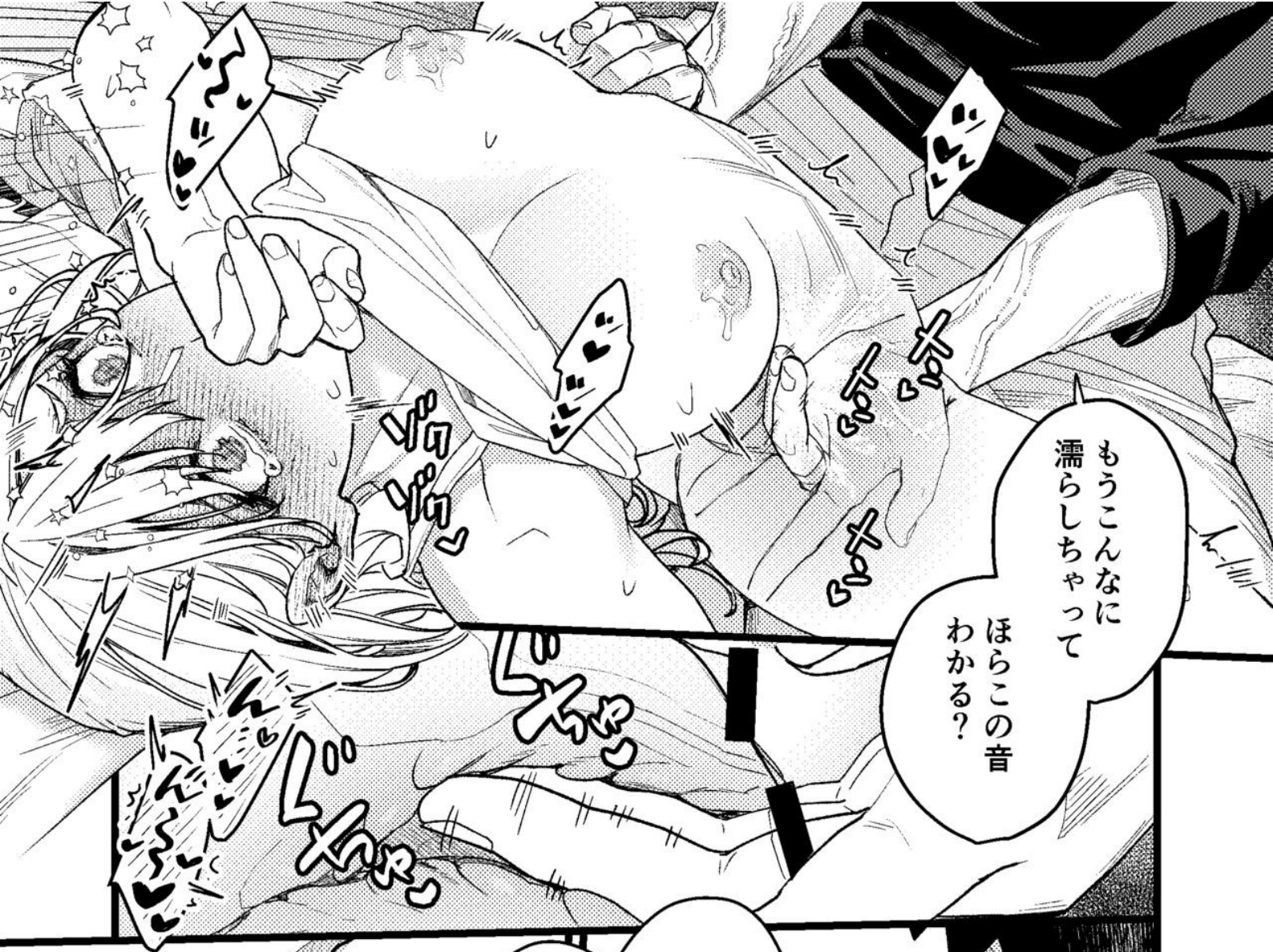
バク...
バク...

どうする?

でもまあ
イリヤが嫌なら
無理強いはい
しないけど....







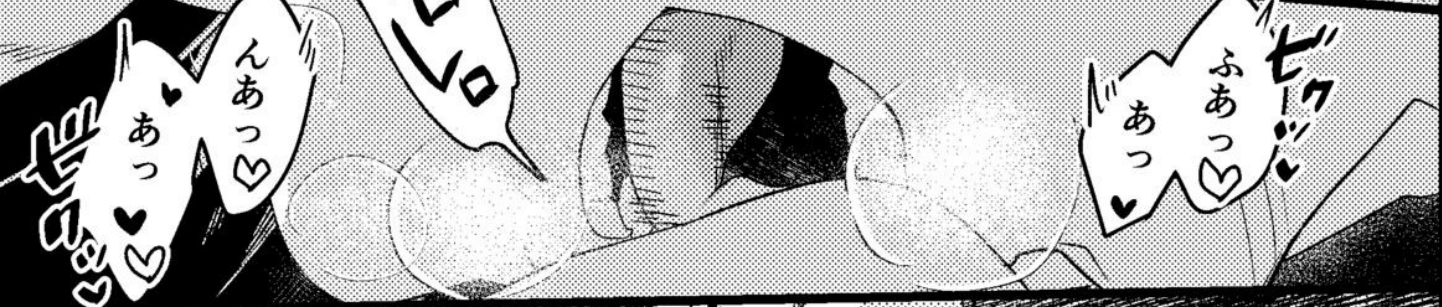
もうこんなに
濡らしちゃって

ほらこの音
わかる？

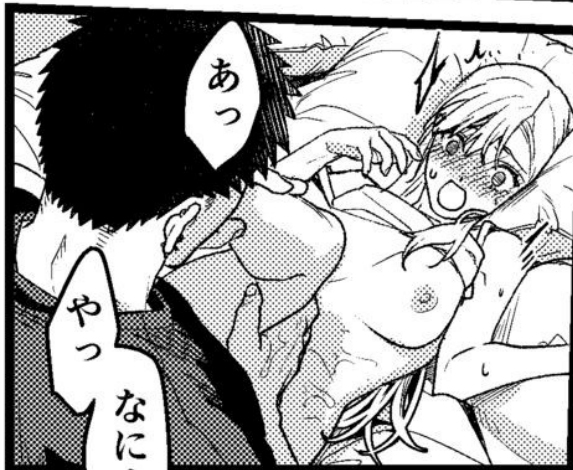
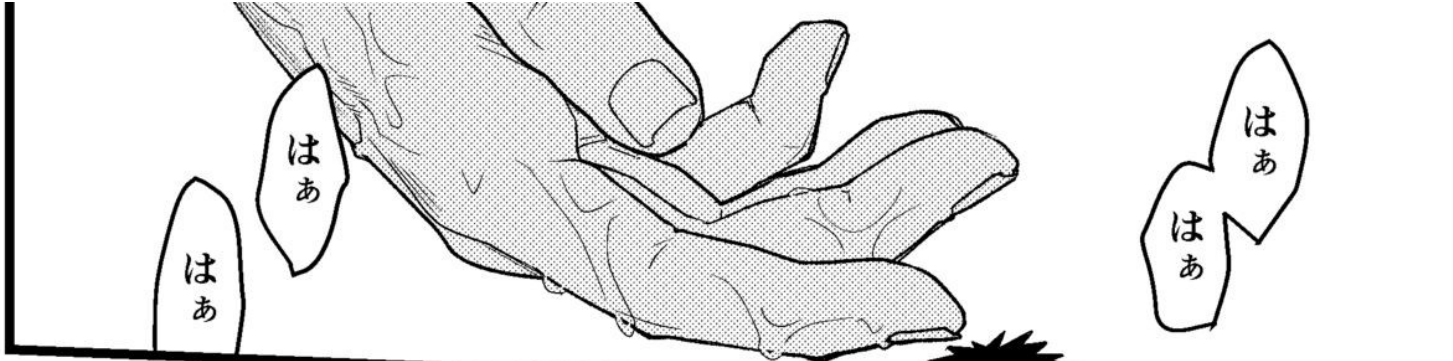


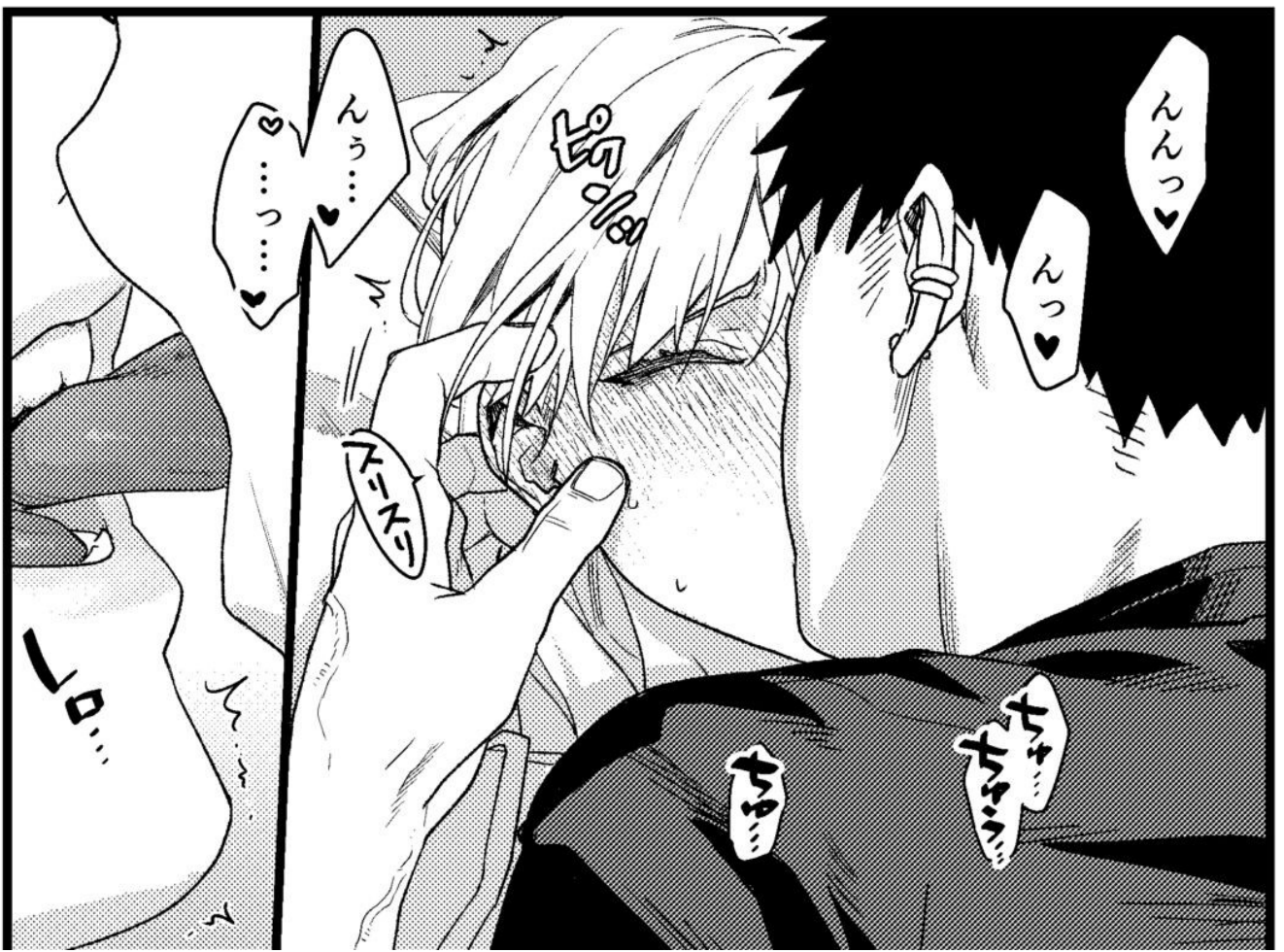
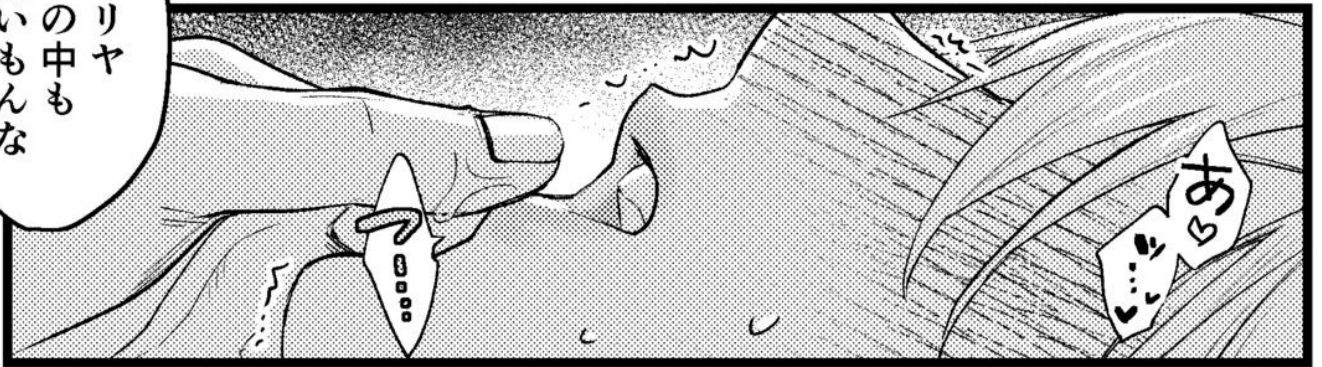
イリヤのクリ
勃起してて
かわいい♡

ここも
苛めて
いい？









はあ…

…イリヤのその顔
すげーそそるけど

今から
そんなので
大丈夫？

まだ挿入もして
ないんだけど

あっ

入れる前から
出来上がっ
ちゃって

それでこの先
耐えられそ？

俺もさっき一回
抜いているとはいえ

まだまだ
溜まってる
からなあ

自制効くか
どうか…

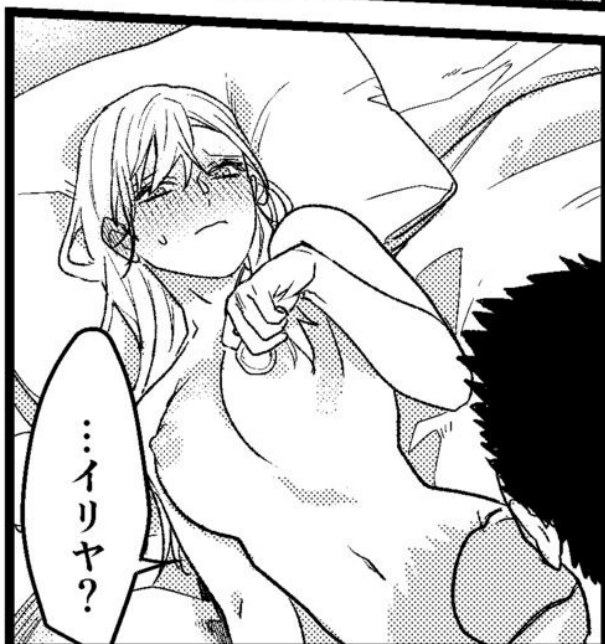
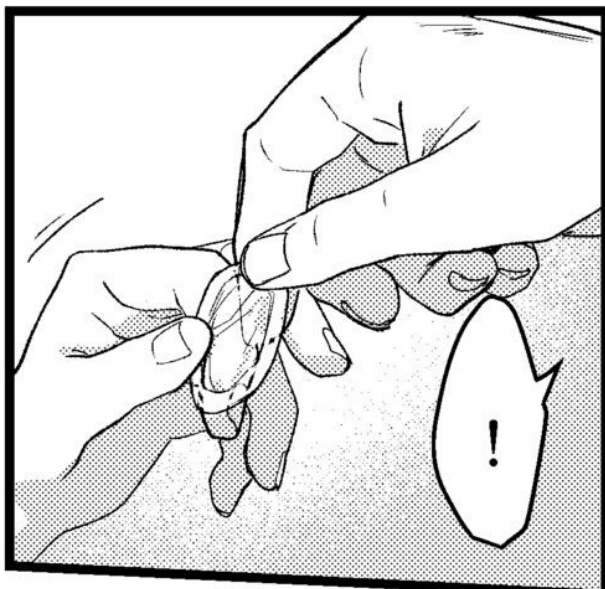
何？
イリヤさんが
つけてくれ…

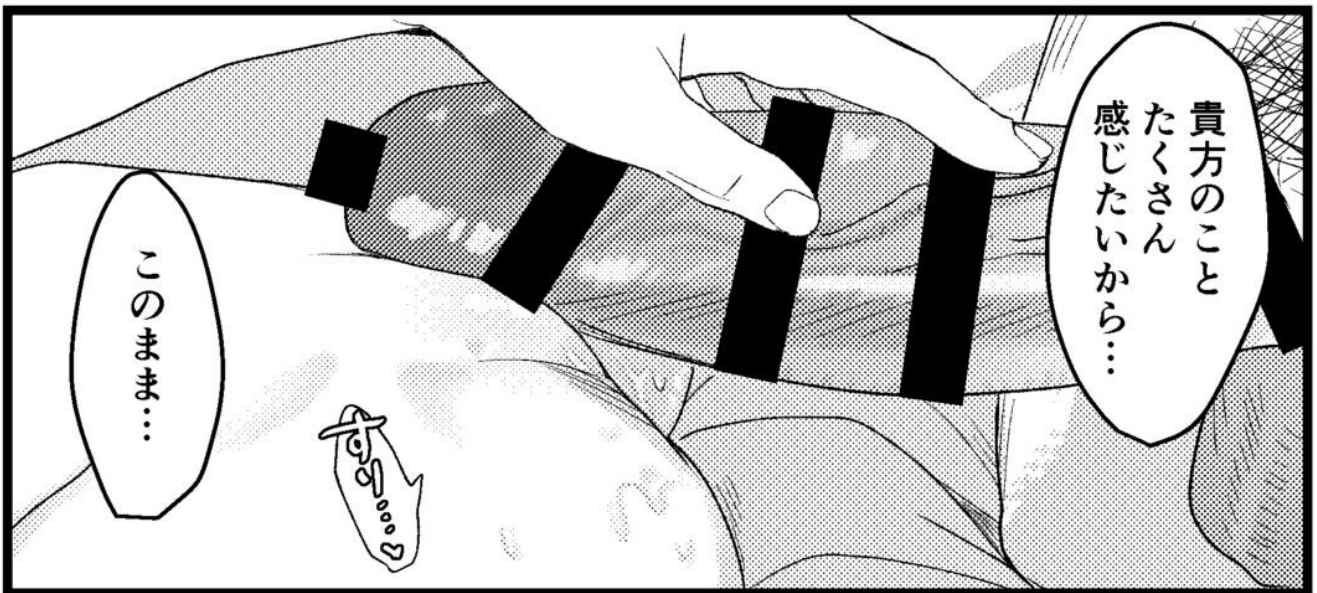
きよ…
今日は
このまま…

直接…
したい…

避妊薬も
飲んでる
し…

だめ…？





またそうやって
人を煽るような
ことを……！

ビク

く
う
...

んっ…



う
う
…

ん
ん
.....

70

7





んあっ
あっ
あっ

ゼリッ

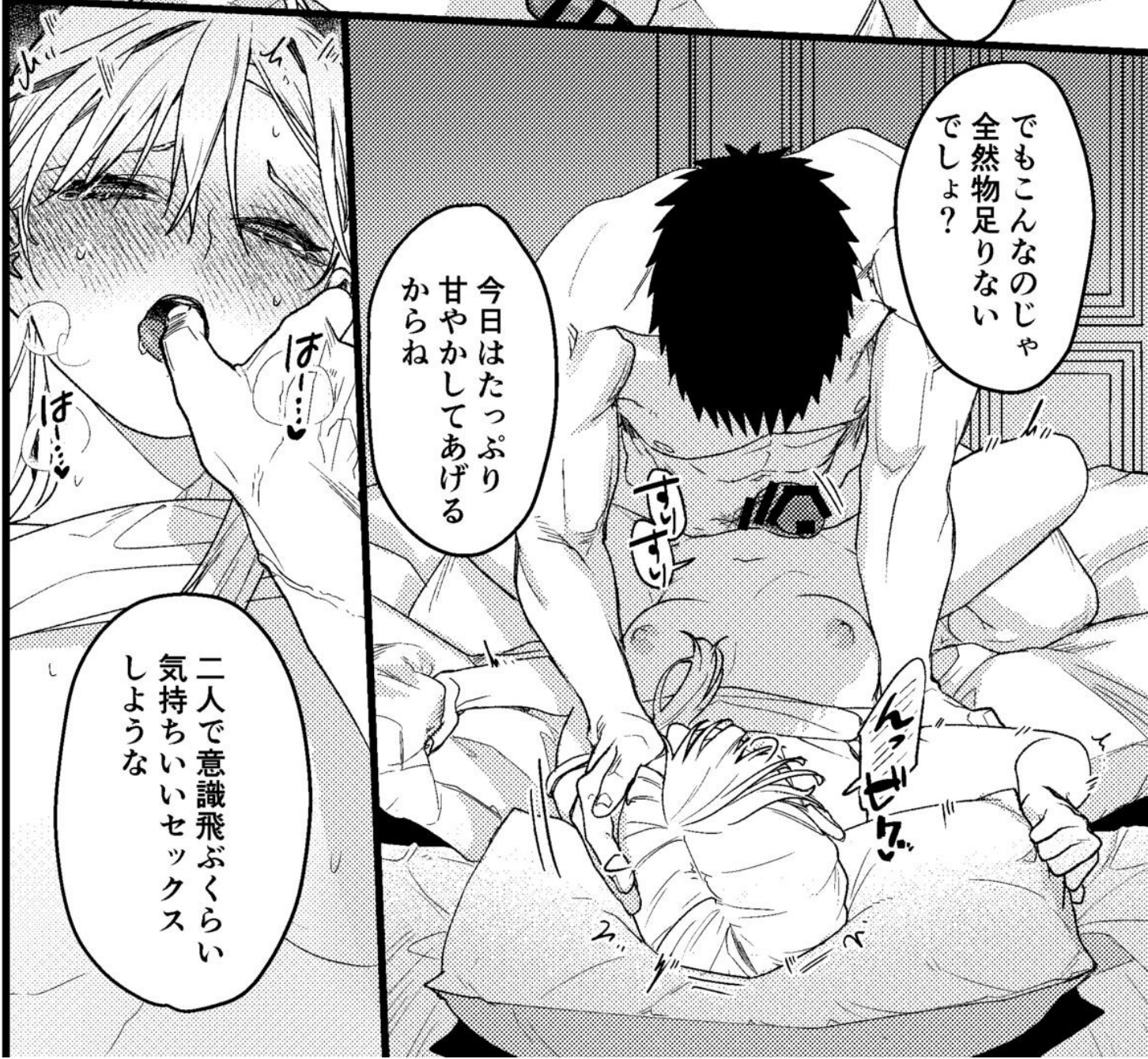
あはは
またいき潮
吹いちゃったね
びちゃびちゃだ



乳首だけで
イったり
自分から
腰振ったり

久しぶり
だもんな

イリヤも
溜まってた?



でもこんなのじゃ
全然物足りない
でしょ?

今日はたっぷり
甘やかしてあげる
からね

二人で意識飛ぶくらい
気持ちいいセックス
しような

ほー

ほー

ほら
この奥

すり♡

すり♡

すり♡
すり♡

あっ…♡

イリヤの
好きなところ
少し擦って
あげるだけで…

や…♡
は…♡

くっ♡

ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡
ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡

くっ♡
くっ♡

くっ♡
くっ♡
きゅ♡

イリヤまた
イってる

かわいい
ね♡



だめ…

激し…♡

奥の
気持ちいい
ところ…

つぶされ
ちゃ…♡

体の奥の…

疼いてる
ところ
当てられて

いくの…

止められ
な…♡

♡
♡
♡

んあ…

あ…

んああ♡

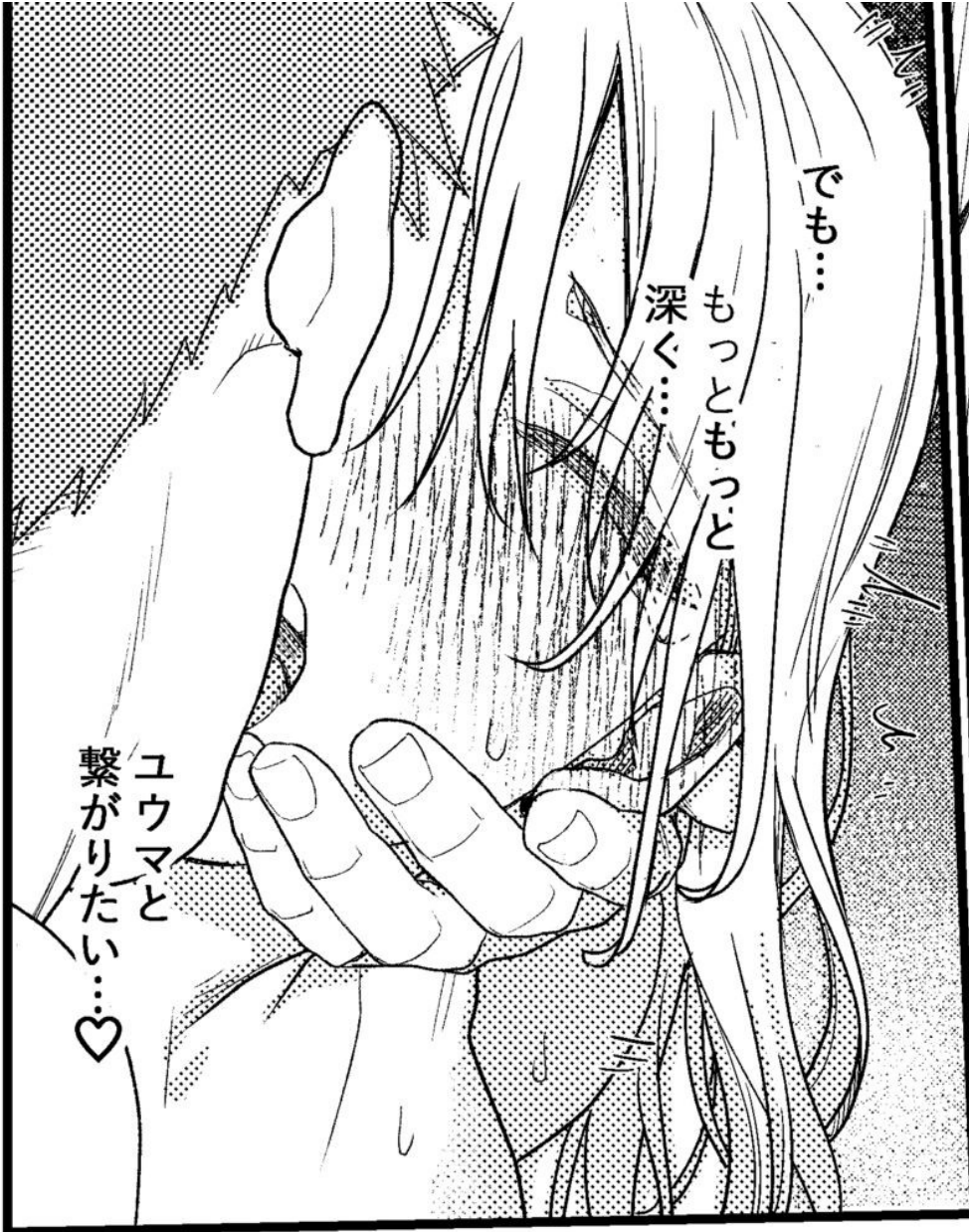
♡♡
ああ♡

♡♡
あ♡

♡
♡

…♡

締め付け
きつくて
搾り取られ
そ…♡



でも…

もっともっとと
深く…

ユウマと
繋がりたい…♡

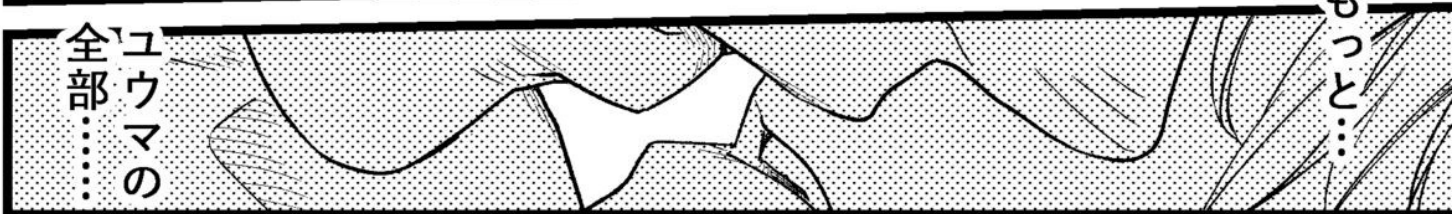


だめ…♡

ユウマに…

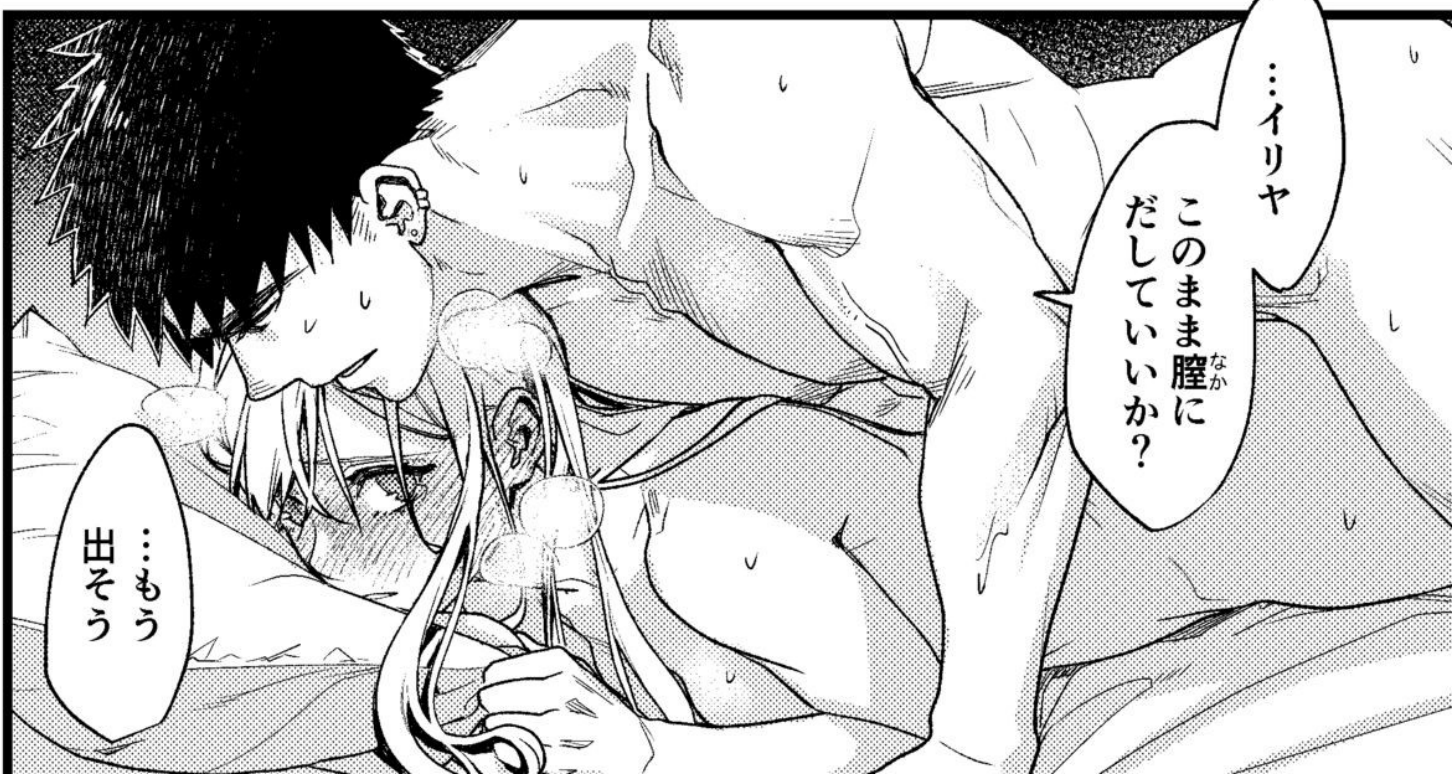
奥の奥まで…
ぐちゃぐちゃに…
され…♡

気持ち…
い…♡



もっと…

ユウマの
全部…



…イリヤ

このままなか臆に
だしていいか？

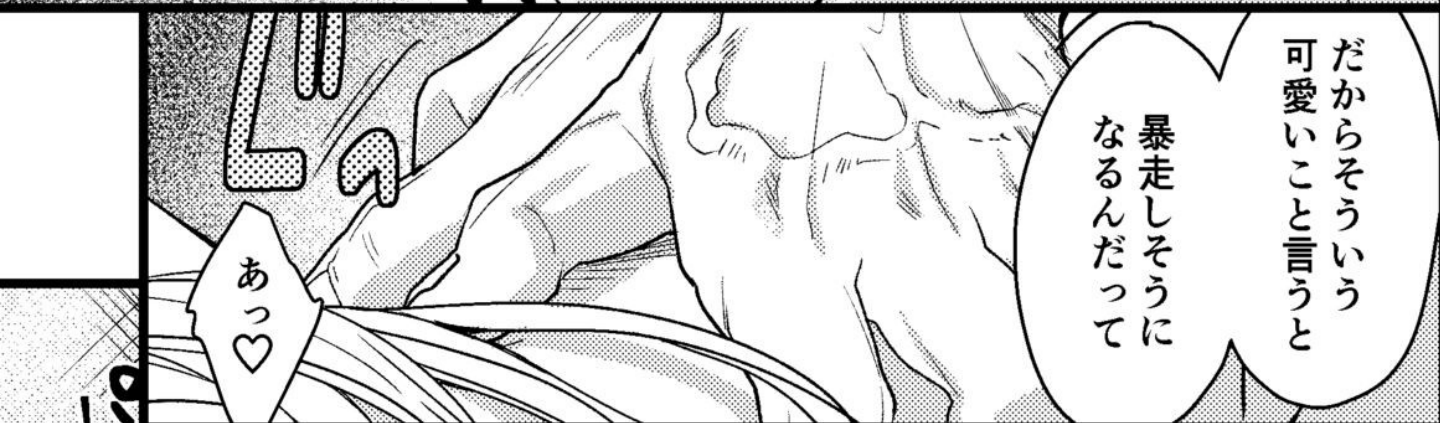
…もう
出そう



私も
ユウマの...

...うん...

なか
膛に欲しい...♡



だからそういう
可愛いこと言うと
暴走しそうに
なるんだって

あっ♡

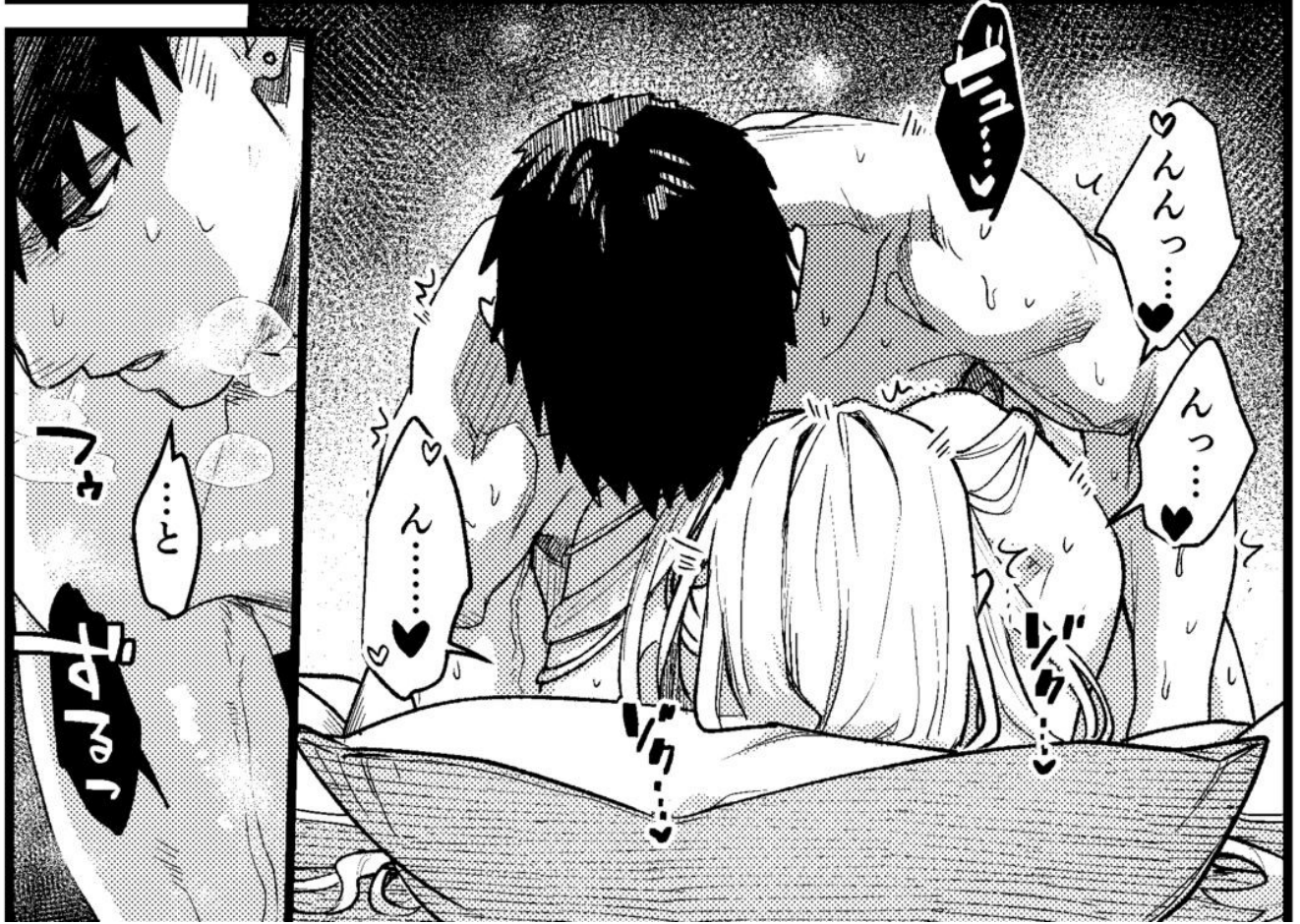


あーっ♡

はっ♡

おっ♡





フー...
ゼン

ム...

ゼン

イリヤ
かわいい

また潮
吹いちゃってる

グググ

イリヤ

ハハハ
向う

ゼン

ゼン

て...

ゼン

へ...

やあ...

今...顔
見ないで...

ぐちゃ
ぐちゃ...

だ...から
.....

見られる
と...

恥ずか...し...

あっ!?

ユ...

い...ろ...

あっ

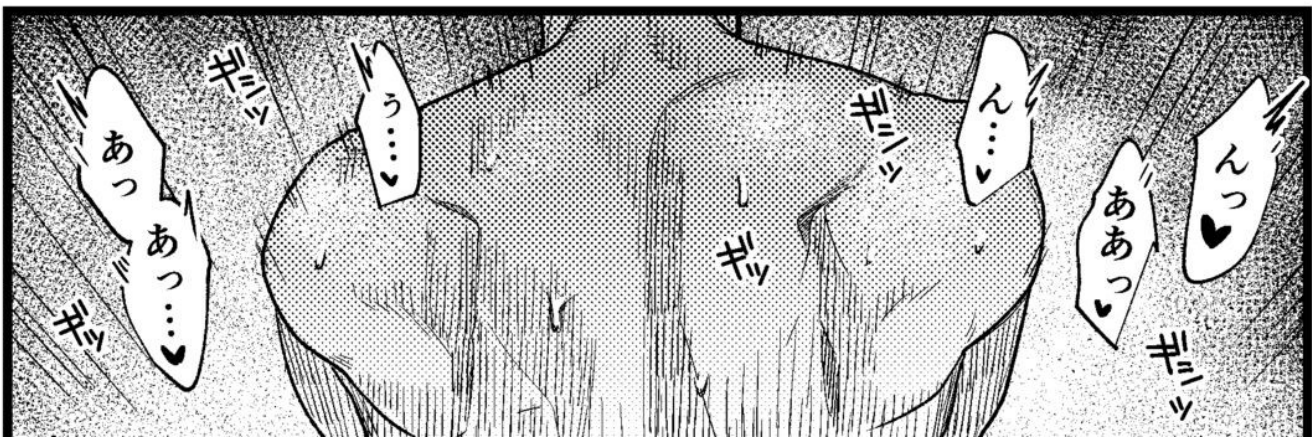
んんっ

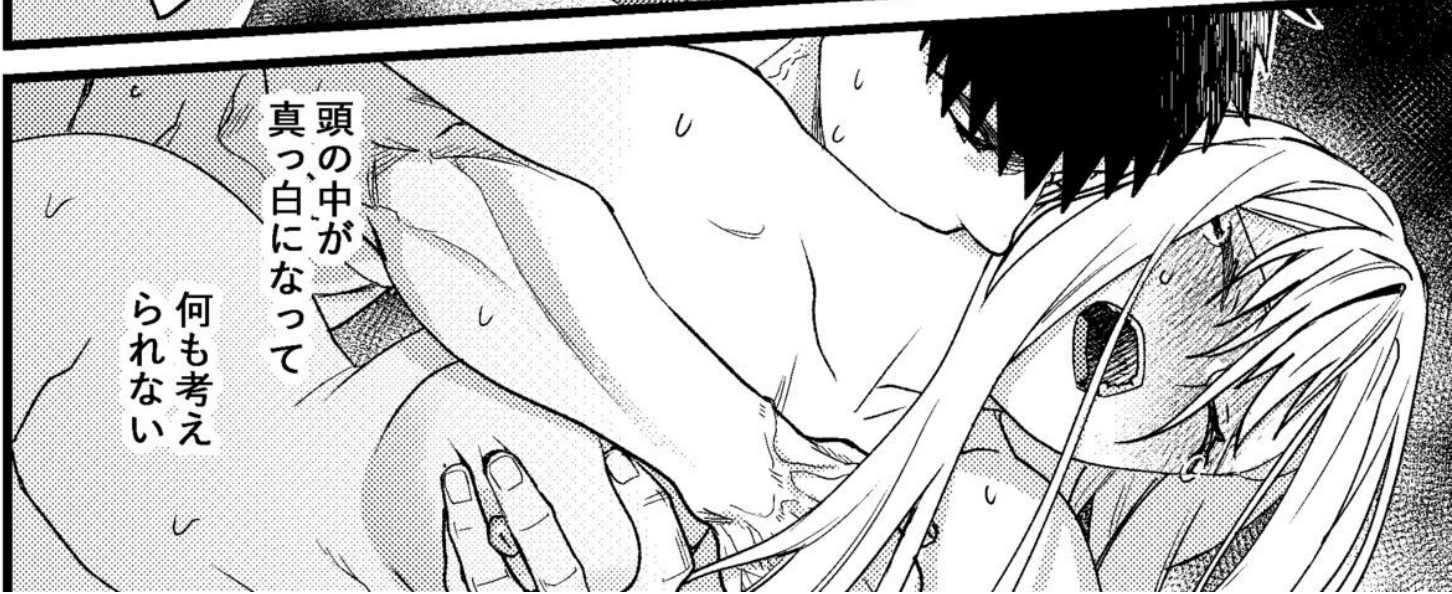
んう...

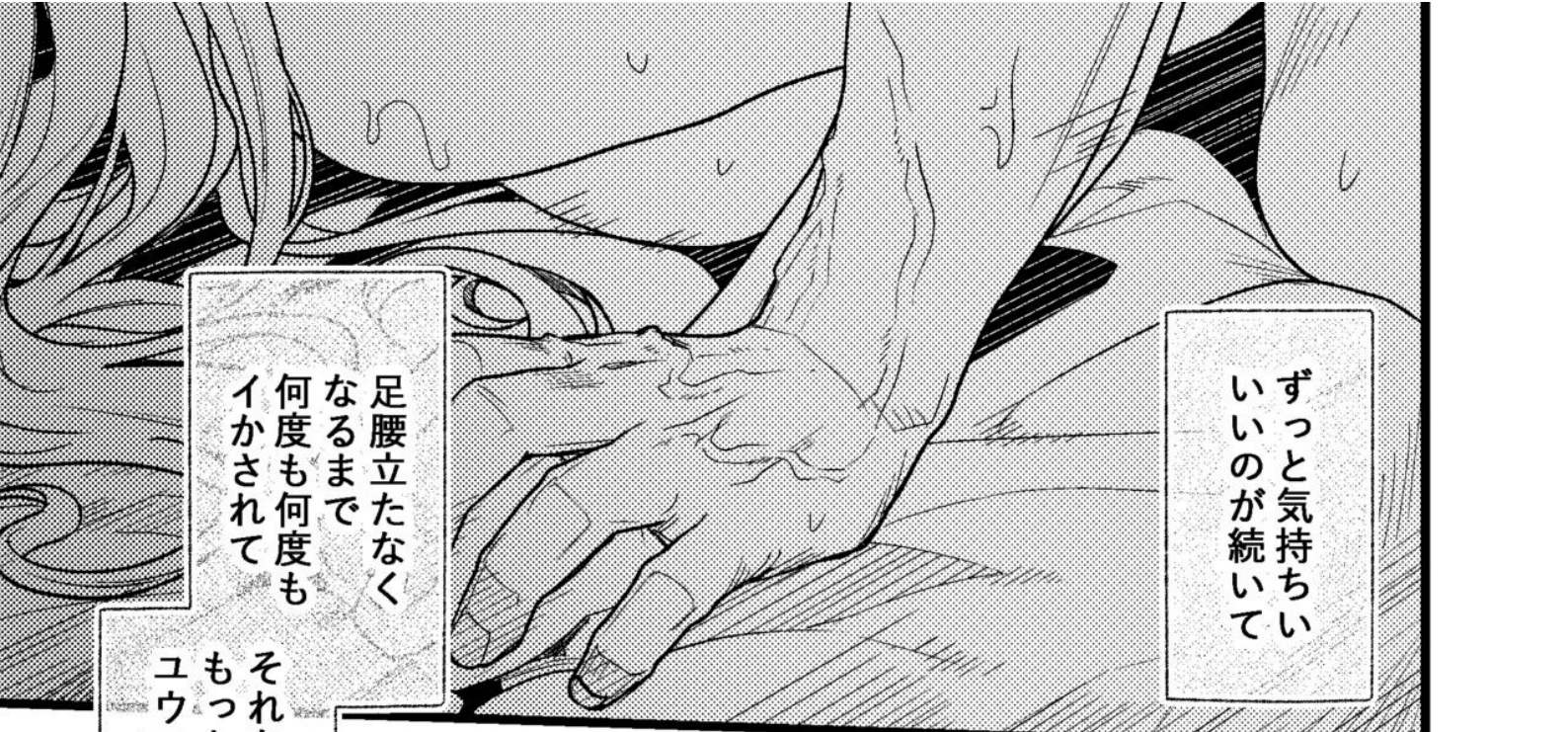
っ...♡

んんっ...♡









ずっと気持ちいい
いいが続いて

足腰立たなくな
るまで
何度も何度も
イカされて

それなのに
もっともっと
ユウマが欲しくて



ユウマに
触れられた
ところ

熱くて全部
溶けちゃいそう
……



俺も

愛してる

イリヤ

んっ…

ユウマっ…

ユ…マ…

も…
♡

ん

わかって
る…!!



♡♡♡...♡♡♡

♡...♡♡♡

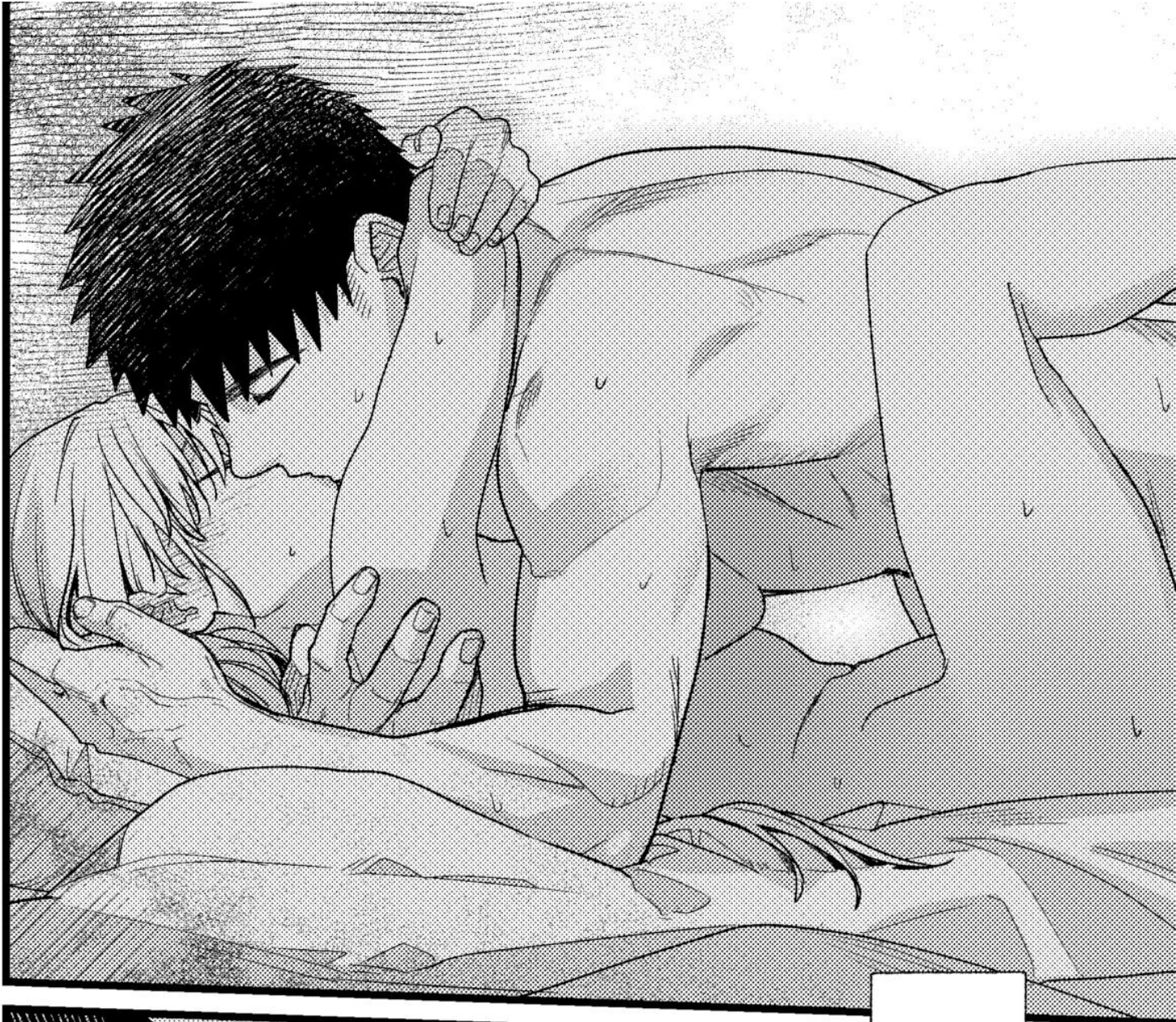
♡...♡♡♡

♡...♡♡♡

♡♡♡...♡♡♡

♡...♡♡♡

♡...♡♡♡

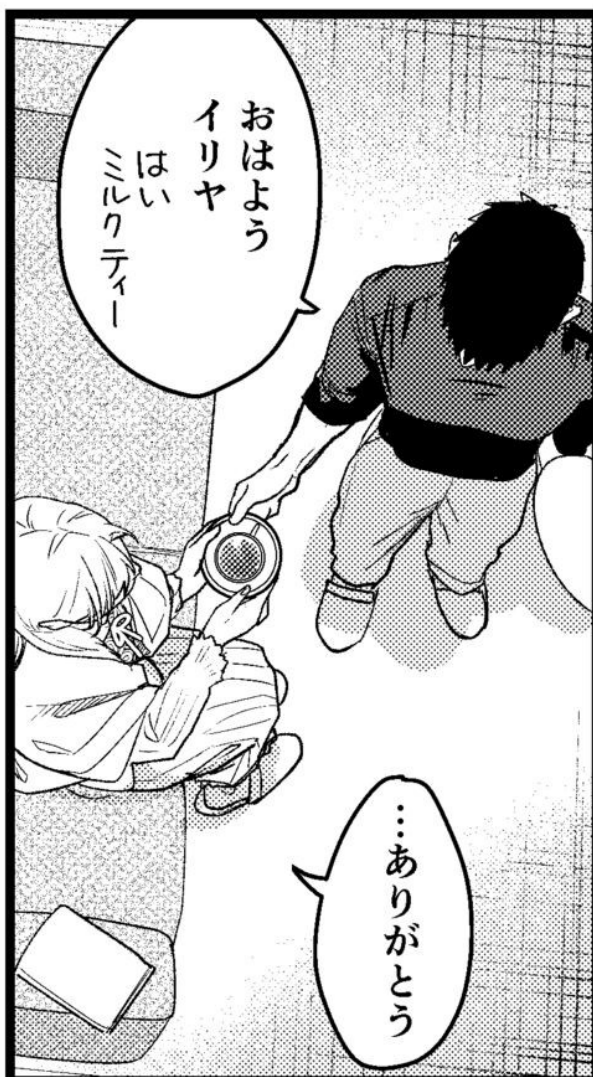


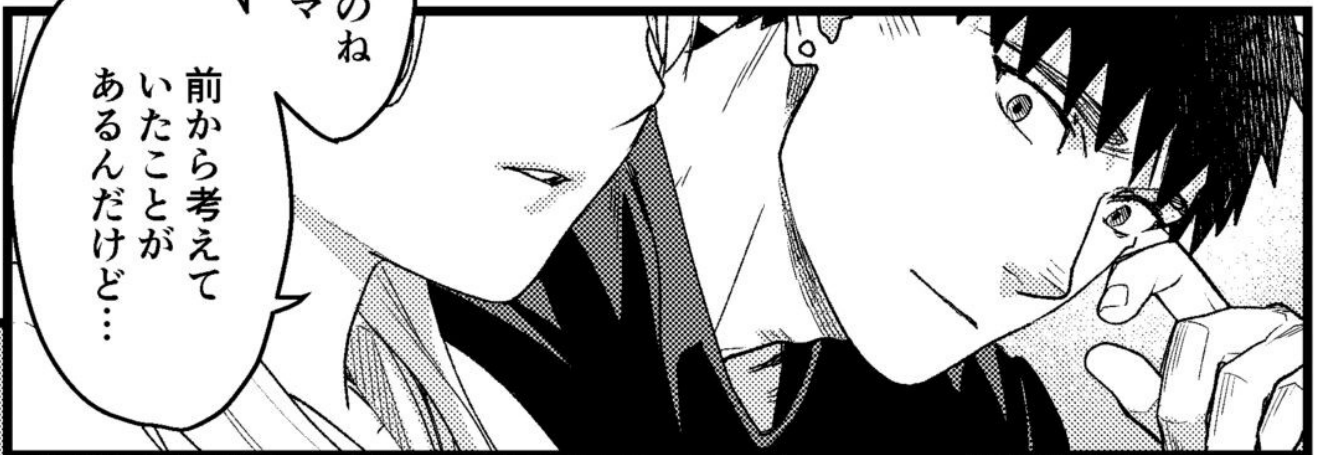
気づいたら
日付が
変わっていて

お風呂上りに
二人で食べようと
思っていた
ケーキを食べてから
くっつきあって寝た

抱きしめてくる
ユウマの体温が
心地よくて

その日は
久しぶりに
ぐっすりと
眠れた







いやね？
正直俺としては
大歓迎だよ

イリヤがまた
復帰して
くれるのはさ

今頭の中で
小躍りしている
レベルで大歓迎だ



けどお前は
それで本当に
いいのか？

イリヤを軍部に
戻して
大喜びで
手配するぞ？

まあ二人で
いろいろ
話し合った
結果だよ

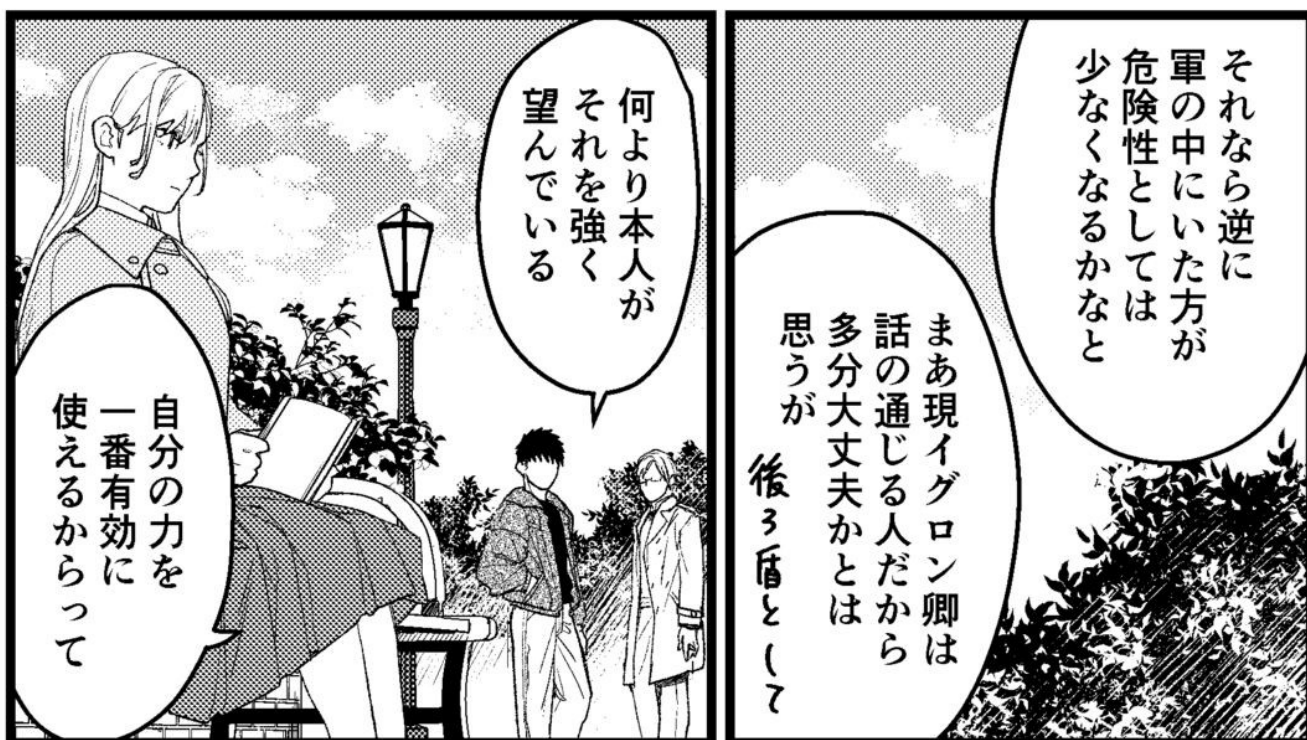


どうしても今の
仕事続けてると

イリヤを一人に
する時間が
発生してしまう

もしイリヤの能力を
知っている
やつがいたら

そいつがイリヤに
手を出さないとも
限らない





仇だとか
そうでないとか
そういう話では
ないよ

今でもあれは
仕方のなかった
ことだと
思ってるしな

だから最初
ユウマにも
あの時の話は
していなかったわけ

：ルードは以前
自分たちの活動は
治安維持と人命救助
のためにあるって

ならせめて…
彼の意志を
継ぐことで

彼を殺した
罪滅ぼしに
なれば…

そういや
イリヤ

あのことは
ちゃんと
ユウマに
伝えてあるのか？

へ？

高熱でうなされている図

イリヤが能力を
使った際は
「高熱が出て
最低でも一週間は
寝込む」て話

①
いいえ
話したら反対
されそうだもの

復帰してしまえば
こちらのものよ

②
ははは
けっこう
強かな女
だったんだな



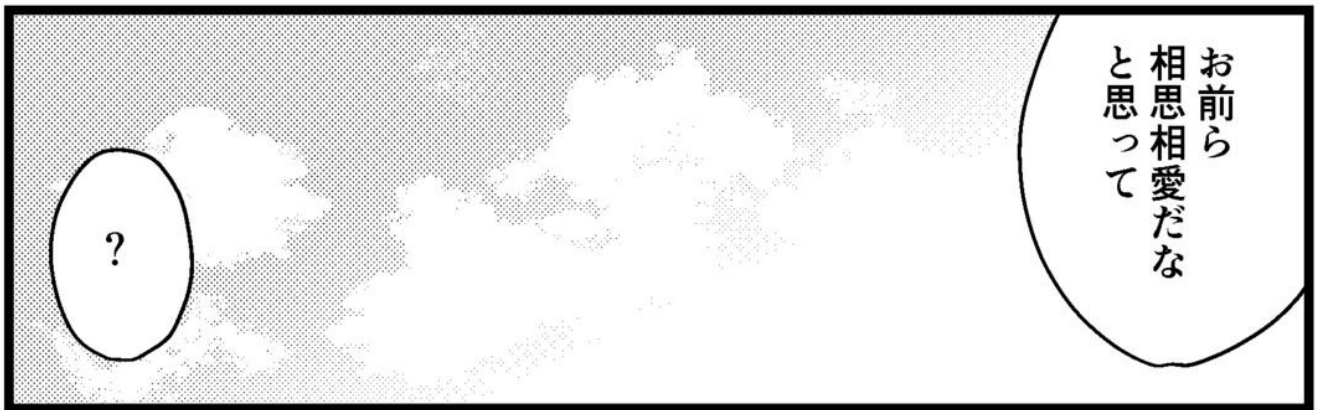
なに？

いや



ユウマの
ことは

私がちゃんと
守るから



お前ら
相思相愛だな
と思って

？



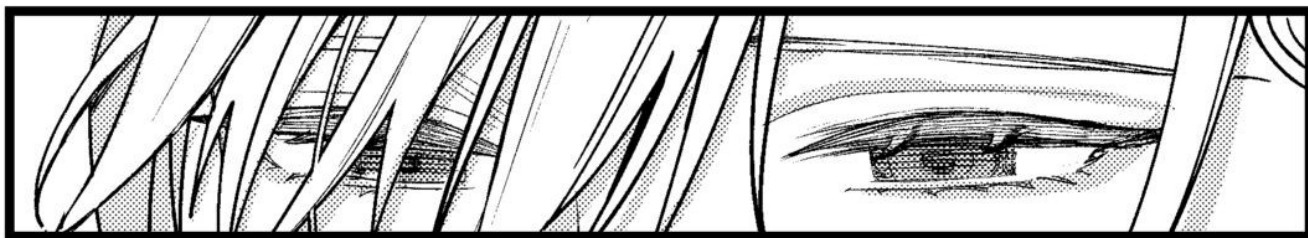
…で？

カインと何
話してたんだ？

いろいろよ

ラブラブだなとか
言われたけど

え…？
ほんと何
話してたの…？
気になるじゃん



いくらユウマが
ルードのことを
許してくれると
言ったとしても

私の罪が消える
ことはない

これから先もずっと
自分の犯した罪と
向き合いながら

日々を過ごすことに
なるんだろう

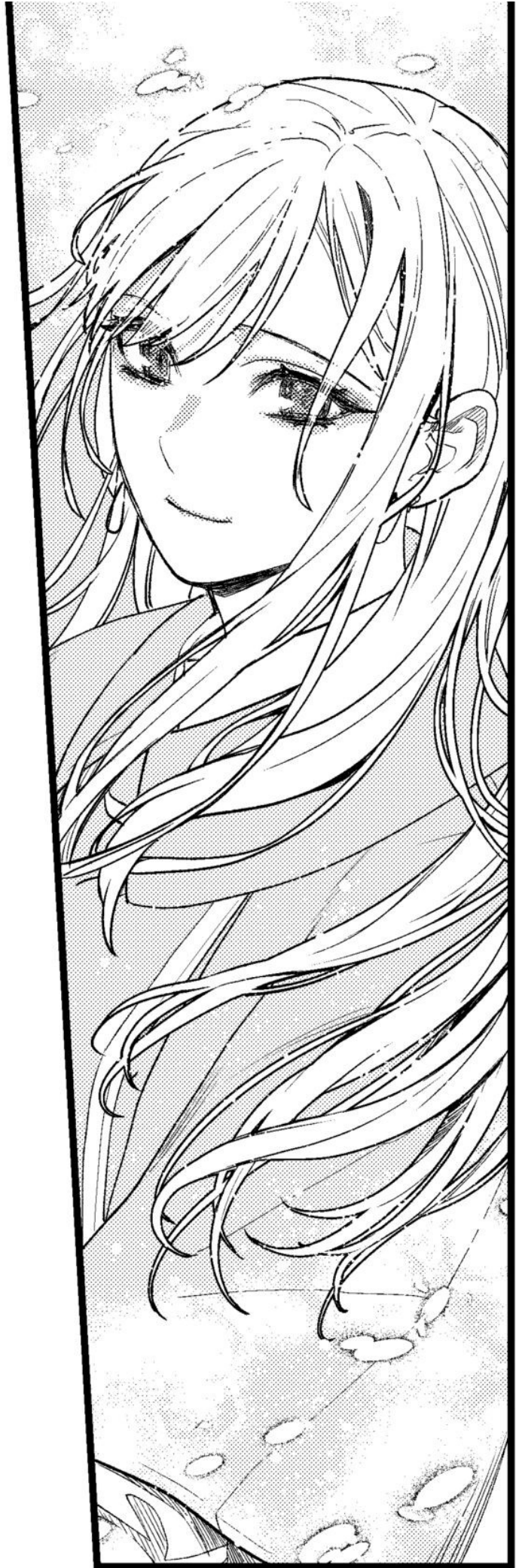
けど

それでも私は
彼と共に生きると
決めたのだから

ぎゅっ

…ん？

どうかした？
イリヤ



大好き

ユウマ



彼の事情と彼女の秘密 ～その後の話～

サークル 桃色アザラシ

作者 ありま

発行日 2024/05/03

【警告】

※この漫画の著作権は桃色アザラシ/ありまにあります。

※この漫画を桃色アザラシ/ありまに許可なくインターネット上にアップロードすることは犯罪行為です。(著作権法第23条)

10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、またはその両方が同時に科せられます。(著作権法第119条第1項)

All rights reserved

请勿将这本书的内容在社交平台上公开



※公園の猫さんたちはとても人なれしているため、初対面のイリヤでも触らせてくれます